

幾代会観察会(2022年8月)のまとめ

- ◆日時 2022.8.7(日)
- ◆散策場所 奥多摩日原
- ◆ポイント 巨樹を求めて
- ◆散策ルート 奥多摩駅～東日原(バス停)～丹生神社～山の神のナラの木～水垂のトチ～
一石山神社(お昼)～森林館～東日原(バス停)～奥多摩駅
- ◆参加者 太田、大村、岡、中部、浅井と越前の6名。敬称略、
下見 7月20日 4名



◆感想 参加者からの一言

太田さん

イワタバコの群生に感激。涼しくてよかった。

浅井さん

岩山が昇仙峡のようだった。

※大村 Q) 山梨の昇仙峡のことでいいですか？

中部さん

3 か月ぶり。鍾乳洞の奥が面白かった。天気が当たりでよかった。イワタバコ。ほか、変わった花（クサボタン似？）も気に入かった。

岡さん

イワタバコ、ボタンヅル、タマアジサイの3つの共演がすばらしかった。小川谷林道の先まで行ってみたい。

越前さん

涼しくてよかった。説明がツユクサだけになった[ご本人少々不満？]。森林館2階[常設展示室]の床に描かれた巨樹の大きさに感動した。

大村

山の神神社の裏に佇むナラ[ミズナラ]が印象的。ツユクサの説明が奥深かった。涼しかった。

参加者からの一言は大村さんに打ち込んで送って貰いました。

◆ 8月の植物観察会のポイント

● ツユクサの生き抜く戦略



ツユクサは形からボウシバナ、花の色からアオバナとも言われるツユクサ科の一年草で北海道から沖縄まで広範囲に自生します。
ツユクサの花の特徴 蕾は二つ折りに成った大きな総苞の中にあり、開花する時に外に出てくる。
花は早朝に開き昼過ぎにはしぼむ。花弁は3枚で2枚は青色で上向きにつき、1枚は花の下の方にあり半透明で目立たない。

雄蕊には3つのタイプがあり、花糸が長くて葯がI字型のものが2本、で花粉を出す。

花糸が短くてX字型のものが3本、Y型のものが1本で花粉を殆ど出さず、爽やかな黄色で目立ち虫に花の存在をアピールしている。

花がしぼむときには雌蕊とI字型の雄蕊が先の方から巻き込んで同花受粉する。ツユクサの花の色は水溶性なので手書き友禅染の下絵に使われる。

万葉集にも読まれ昔から人とかかわりの深い植物。

◆散策路の植物

夏休みで込み合う奥多摩駅から増便のバスに参加者 6 名が揃って座って乗車。
ホッ！

檜原街道をバスに揺られて 30 分余りで目的地の山に囲まれた東日原に到着。



クコ



ミズナラ



イワタバコ

空気が澄んで爽やか、そして涼しい～～
奥多摩で売りの綺麗なトイレで用を済ませ、ニッコリご挨拶。

まず民家の空き地でどこでも見かけるツククサの花の仕組みを解説。

参加者それぞれがツククサの花を持ってルーペを覗いてじっくりと観察。

山側の旧道を西側に進み丹生神社の下で一礼。

見晴らしの良い旧道沿いに、あまり見かけない薄紫色のクコの花が一輪お出迎え。

ナス科、落葉低木、棘が有るので要注意！

廃墟となったかつての奥多摩工業の寄

宿舍の脇を通り、目的の山の神へと向かう。

山の社殿の右側奥にナラの巨樹がたたずむ。

落ちていた枯れ葉でミズナラと同定。

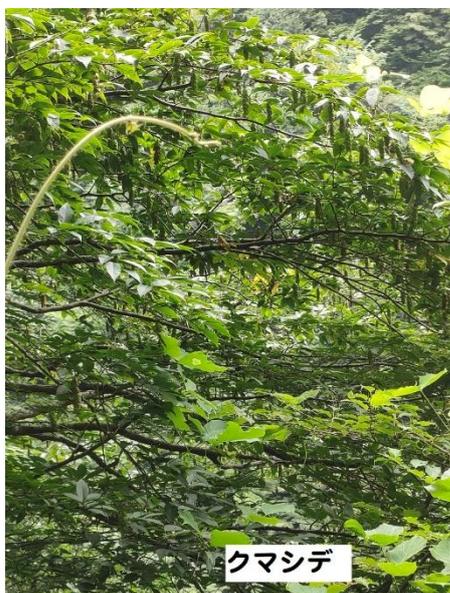
低地で良く見るコナラに比べ、鋸歯が荒く葉柄が短い。

大村さんが紐を取り出し直径を図って周囲は3 m以上と推定。

さすが幾代会の面々は興味と行動力が素晴らしい。

日原街道に出ると山側の石ガキに星形の薄紫のイワタバコの花がアチコチで見られた。

わあ～～綺麗と太田さん、これほどのイワタバコは素晴らしいですね。



クマシデ

中部さんが「お～～い、クマシデが有るぞ」と、元気な声。

戻ってみると沢側の崖下から長いホップのような見事なクマシデの実。

すご＝い、今年は豊作です。

日原川の渓谷沿いを北に進むと土砂防止の金網の岩場の「トチの湧水」から湧き水が流れる。見上げると「水垂のトチ」が樹幹を広げています。

太田さんと私が命綱のロープを頼りによじ登り、急斜面にそびえるトチの巨樹とご対面。

下草で見えませんがトチノキの下には十王無塵に巨樹を支える太い根が張り巡らされている

でしょう。

幹回り4.8 m、樹高30 m、推定樹齢約500年。ほどなく歩いて小川谷橋から眼下のトチノキの実を観察。



トチノキ



一石山神社の社殿裏のスギの巨樹

「これ食べられるの」と浅井さん

何度も水にさらし干したりゆでたりを繰り返し、あくを抜いてようやく食べられます。

一方通行の小川谷林道を10分ほど歩くと左手の一石山神社に到着。

それにしても夏休みの日曜なので鍾乳洞見学の車が多く、70人前後の日原の集落も潤うことと思います。

境内の丁度良い高さの石垣に一列に腰を下ろしてお弁当を広げて昼食。

ミニトマトやキュウリのおしんこの差し入れと一緒に味わい夏ばて防止になりました。



何時もながらご馳走様でした。

岡さんから「どうしてこんなユニークな形になるのか？収斂（しゅうれん）進化と適応拡散」の話題提供。

あらまあ～～とても面白そう、私の興味をガッチリ読まれてますね。

日原鍾乳洞を更に進み、そそり立つ梵天岩や穴の開いた籠岩に驚愕し、小川谷林道のゲート前を抜けて林道の奥をほんの少し歩いてみました。

かつて使われていた壊れかけた階段が有り冒険するにはもってこいです。



何かお宝が眠っているでしょうか？

これからは帰路。下りは足取り軽く日原森林館まで戻り、見学。

涼しいレクチャールームで巨樹のビデオを10分ほど鑑賞。

改めて巨樹が持つエネルギーと長い歴史を生き抜いてきたドラマを感じました。

乗車予定の2時40分のバスまで森林館を見学し、増便されたバスに乗車して日原街道を下って奥多摩駅へ。



奥多摩駅で集合写真を撮って貰い、揃ってニッコリ。

標高600mの日原は涼しく、緑が爽やかで快適でした。

今日も一日、お疲れ様でした。

来月の観察会は彼岸花を求めて霞丘陵と吹上のショウブ公園に行きます。

越前記